

2023年6月19日

各位

東北労働金庫

## 通常総会のご案内と決算概況等のお知らせ

東北労働金庫（本店 仙台市 理事長 伊藤 啓志）の第20回通常総会についてご案内申し上げます。  
また、2022年度決算の概況等についてお知らせいたします。

記

### 1. 第20回 通常総会

- (1) 日時 2023年6月26日（月）午後2時30分より  
 (2) 場所 東北労働金庫 本部（メイン会場）  
 〒980-8661 仙台市青葉区北目町1番15号（TEL：022-723-1111）  
 ※メイン会場の他、各県本部および営業店（24会場）での開催となります。

### 2. 2022年度決算（2023年3月期）の概況

(1) 預金及び貸出金の状況 (単位：億円、%)

項目	2023年3月末	2022年3月末	増加額	増加率
預金残高	23,014	22,450	563	2.5
貸出金残高	13,592	13,009	582	4.4

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

- ① 預金残高は、流動性預金・定期預金等の増加により2兆3,014億円（譲渡性預金含む）、前年度比563億円(+2.5%)の増加となりました。  
 ② 貸出金残高は、住宅ローンの増加により1兆3,592億円、前年度比582億円(+4.4%)の増加となり、東北労働金庫統合以来、最も伸長する結果となりました。

(2) 損益の状況 (単位：百万円、%)

項目	2023年3月末	2022年3月末	増減額	増減率
経常収益	28,694	27,264	1,430	5.2
資金運用収益	25,567	25,076	491	1.9
役務取引等収益	1,191	1,089	102	9.4
その他業務収益	1,908	1,065	843	79.1
その他経常収益	27	34	△7	△20.7
経常費用	23,042	21,944	1,097	5.0
資金調達費用	1,710	1,853	△142	△7.6
役務取引等費用	4,374	4,212	161	3.8
その他業務費用	1,267	17	1,249	7,017.4
経費	15,675	15,848	△173	△1.0
その他経常費用	14	12	1	14.4
経常利益	5,652	5,320	332	6.2
業務純益	5,699	5,401	297	5.5
実質業務純益	5,699	5,401	297	5.5
コア業務純益	6,068	5,302	765	14.4
特別利益	7	-	7	-
特別損失	168	46	121	262.7
当期純利益	3,992	3,863	129	3.3

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

※2021年度決算より消費税の会計処理を従来の「税込方式」から「税抜方式」に変更しております。

- ① 経常収益は286億94百万円、前年度比14億30百万円の増収となりました。貸出金の伸長等もあり資金運用収益が増加したことが要因です。なお、保有債券の売却により国債等債券売却益8億95百万円（前年度比+7億86百万円）を「その他業務収益」に計上しています。
- ② 経常費用は230億42百万円、前年度比10億97百万円の増加となりました。預金利息は預金利回り低下の効果で前年を下回り、経費は「新型コロナウイルス感染症」の影響や預金保険料の減少等により前年を下回りました。なお、市場金利の上昇を受け、国債等債券売却損12億64百万円（前年度比+12億54百万円）を「その他業務費用」に計上したことが費用増加の要因となっています。
- ③ 経常利益は56億52百万円、前年度比3億32百万円の増益となり、結果、「増収増益」となりました。業務純益は56億99百万円（前年度比+2億97百万円）、当期純利益は39億92百万円（前年度比+1億29百万円）となりました。

(3) 労働金庫法に基づく開示債権及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく開示債権

(単位：百万円、%)

項目	2023年3月末	2022年3月末	増減
破産更生等債権	4,565	4,577	△ 12
危険債権	7,169	7,197	△ 28
要管理債権	126	86	40
うち三月以上延滞債権	126	86	40
うち条件緩和債権	-	-	-
不良債権計	11,860	11,860	0
正常債権	1,348,504	1,290,291	58,213
合計	1,360,365	1,302,151	58,213
(不良債権比率)	0.87	0.91	△ 0.04

(注) 単位未満の端数は四捨五入して表示しています。数値は円単位で算出のため合計金額とは一致しません。

(4) 自己資本比率

2023年3月期の自己資本比率は、9.40%となりました。自己資本の額は1,082億37百万円と32億93百万円増加しましたが、貸出金の伸長によりリスク・アセット（資産）も増加したことで、自己資本比率は前年度比0.18ポイント低下しました。

3. 2023年度の事業計画（預貸・収支の計数計画）

- (1) 年度末の総預金残高 2兆3,364億円（増加額350億円、増加率1.5%）
- (2) 年度末の総貸出金残高 1兆3,992億円（増加額400億円、増加率2.9%）
- (3) 経常利益 44億96百万円
- (4) 業務純益 46億17百万円
- (5) 当期純利益 32億37百万円

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

- |                |             |          |                  |
|----------------|-------------|----------|------------------|
| ・総会、事業計画に関する事項 | 東北労働金庫総合企画部 | (佐藤・佐々木) | TEL 022-227-1356 |
| ・決算に関する事項      | 東北労働金庫財務部   | (縄野・寺崎)  | TEL 022-723-1114 |